

本日ここに、2025年度大阪観光大学卒業式ならびに別科修了式が挙行されますことを、心よりお祝い申し上げます。

卒業生・別科修了生の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。

そして、今日の日を支えてこられましたご家族の皆様、教職員の皆様、関係者の皆様にも、同窓会を代表して心から敬意と祝意を表したいと思います。

皆さんが本学で過ごした日々は、決して平坦なものではなかったと思います。

社会は大きく変化し、価値観も働き方も、国際情勢も目まぐるしく動く時代です。

そのような中で、皆さんは学びを止めず、人と出会い、考え、挑戦し続けてこられました。

大阪観光大学で学んだ皆さんは、知識だけでなく、

「違いを受け入れる力」

「相手を尊重する姿勢」

「地域や社会に目を向ける視野」

を身につけられたはずです。

これから皆さんが進む社会は、正解が一つではありません。

だからこそ大切なのは、「確かな情報を手に入れ、それを判断する力」です。

皆さん、昨年、2025年7月5日という日を覚えておられますか。

ある漫画に「2025年7月に日本で大災害が起こる可能性がある」と予知夢の内容が掲載され、日本中で「地震や津波がおきるのでは？」と話題になった出来事です。

その大災害が起きると予想されていたのが7月5日でした。もちろん、皆さんもご存じのように、何も起こりませんでした。

私は小学生や中学生、高校生と接する仕事に就いています。

7月5日が過ぎた後、小学生たちに「この予想を信じていたか？」と質問しました。

すると半分の子が「信じていた」と述べました。

残りの「信じていなかった子」の一人がこんなことを言いました。

「僕も最初は信じていました。しかしこれを父に話すと、こんなことを言いました。『いいか、そんな予想はあたらない。お父さんが子供のころ、1999年7の月に恐怖の大王がやってきて、地球は滅びるだろうという予言が大流行した。お父さんはそれを信じた。しかし、予想は当たらなかった。』この話を聞いて、僕は信じませんでした。」

この場におられる教職員の皆様、そして保護者の皆様はすぐに何の話かわかられたと思います。

1999年に大流行した「ノストラダムスの大予言」のことです。

おそらく、いまここにおられる卒業生の皆さんは「何のことだろう？」と思われたことでしょう。

大切なのは、それを「知らない」ことで終わらせず、自ら調べて自分の知識に変えていく姿勢です。

指先一つで膨大な情報に触れられる現代だからこそ、溢れる情報に振り回されるのではなく、自ら正しい答えを導き出す力が、皆さんを支える大きな武器になります。

ぜひ「情報の価値」を意識し、確かな視点を持って社会という大海原へ踏み出してください。卒業生の皆様には、ぜひ「情報」の大切さを意識して、社会で生きていってほしいと思います。

そしてこれだけは忘れないでください。

皆さんは今日から、大阪観光大学の“卒業生”であると同時に、私たち同窓生の仲間です。

大学同窓会は、過去を懐かしむためだけの場ではありません。

世代を超えて支え合い、挑戦を応援し合うネットワークです。

困ったときは、どうか思い出してください。

ここには、皆さんを応援する仲間がいるということ。

最後に、皆さん一人ひとりの未来が、

人と人をつなぎ、地域を明るく照らし、世界を少しだけ温かくする歩みとなることを心より願
い、

私の祝辞といたします。

本日は誠にありがとうございます。

2026年3月18日

大阪観光大学同窓会

会長 濱元洋行